

演劇で徳島県を盛り上げるために

1170488 森本 成佳

高知工科大学 マネジメント学部

1. はじめに

趣味・娯楽に分類されるものはいくつかあり、CD 等による音楽鑑賞、映画鑑賞、読書などがあげられる。社会基本調査の趣味・娯楽に関する調査では、芸術も趣味・娯楽とされているが、芸術を趣味・娯楽とする人は少なく、中でも演劇に関しては音楽や美術と比べても圧倒的に少ない。演劇にはテレビドラマや映画では味わえない空気を味わう事ができ、演劇だけでなく音楽やダンス等その他の芸術をも取り込むことが出来る魅力がある。この魅力をプロの劇団だけではなく、アマチュア劇団も自分たちの行動を通して演劇の魅力を伝えている。

例えば高知県にはアマチュア劇団が複数存在し、誰でも演劇を観る機会が多いが、徳島県はアマチュア劇団は少なく演劇を観る機会は月に一回プロによる公演があるがその公演は会員制のため一般の人が気軽に観に行く事が出来る演劇イベントではなく、演劇を趣味とする人のためのものであると言える。そこで本研究では、アマチュア劇団による演劇イベントを通して演劇の魅力を伝えるためにはどのようなイベントを行えばいいのか、また、徳島県でアマチュア劇団が活動していくためにはどのような支援があればいいのかを高知県と比較し提案する。

2. 分析目的と分析方法

2.1 徳島県の現状

徳島県には現在アマチュア劇団が2つ(1つは活動休止中)存在する。数年前まではいくつか劇団が存在していたが、劇団の赤字を理由に解散してしまった。アマチュア劇団の活動が減り、徳島県での演劇に関するイベントはほとんどない。しかし、アマチュア劇団によるイベントが全くない徳島県と比べて、高知県には30代から40代を中心としたアマチュア劇団が複数存在し、そのアマチュア劇団の公演の場として客

席数が100席以下の小規模な芝居小屋が利用されている。各劇団の公演だけでなく複数の劇団で一つの公演を行ったり、0歳児から6歳くらいまでの子供を対象とした音楽劇など様々な形で多くの年代の人が楽しめる演劇の場が多数存在している。

2.2 目的

本研究では、小規模の芝居小屋の必要性や高知県のアマチュア劇団が活動できる理由を明らかにする。その中で、0歳児から演劇に触れるイベントやその他の演劇イベントを例にあげ、そのイベントにはどのような利点があるのかを考え、それらが徳島県のアマチュア劇団の活動に役立てる事が出来るかを明確にする。

また、それくらいの人が演劇を趣味・娯楽としているのか、実際に足を運んで観に行く人がどれくらいいるのかも調べ、どのような芸術や趣味が人気なのかを知る事でそれを演劇に取り入れることが可能かどうか検討する。

2.3 分析方法

現在の徳島県と高知県の演劇に関する活動状況をホールの利用状況等から調査する。次に演劇を観る人の割合を文化に関する世論調査と社会基本調査の趣味・娯楽より調べ、以上の調査結果より徳島県でアマチュア劇団が活動できない理由を考察し徳島県での演劇活動に取り入れることができるかを考える。

3. 分析結果

3.1 徳島県と高知県の現状比較

現在徳島県にはアマチュア劇団が2劇団存在し、高知県には12劇団存在する。劇団以外にも個人で演劇活動をする人や、劇団を越えたユニットなども複数存在するため、演劇活動を

行う団体(個人)の総数は把握しきれていない。次に、演劇イベントを行うホールだが、徳島県が演劇イベントに利用するホールは 100 席以上を超えるホールしかないのに対し、高知県では 100 席以下のホールが存在する。主に高知県で行われている演劇イベントは蛸蔵が利用されている。複数の劇団とイベントを行う際にはかるぽーとを使用する場合もある。個人の朗読劇などは喫茶店メフィストフェレスの 2 階で行う事もあり各ホールをイベントの規模でうまく使い分けている。また高知駅からのアクセスも良い為、県外からも観に来やすい。しかし徳島県では客席の数が集客より圧倒的に多い為シビックセンター以外のホールをアマチュア劇団が利用する事はまずない。またアスティとくしまや鳴門市文化会館はアクセスが非常に悪く車がないと行けないため観に行きづらい。

	徳島県	高知県
劇団数	2劇団	12劇団
ホール (客席数)	アスティとくしま (5000席)	高知県民文化ホール オレンジホール(1507席) グリーンホール(500席)
	鳴門市文化会館 (1480席)	かるぽーと 大ホール(1085席) 小ホール(200席)
	あわぎんホール (800席)	蛸蔵(約70席)
	シビックセンター (200席)	メフィストフェレス 二階 (40席)

次に徳島県と高知県の演劇イベントの違いだが、高知県では高知演劇ネットワーク演会が主催する「演劇祭 KOCHI(4 月末~7 月毎週土日)」や「蛸蔵ラボ(不定期)」などのイベントや、各アマチュア劇団で自主公演を行う事もあり、アマチュア劇団の活動の機会が多い。その他にも「0 歳児からの音楽コンサ

ート(音楽劇)」があり子供を対象としたイベントもある。しかし、徳島県にはアマチュア劇団による演劇イベントはなく、「徳島市民劇場例会」はプロによる公演で会員制のため 3 人での入会、入会費 2,500 円、月額会費 2,500 円と気軽に見る演劇ではない。他には「徳島県高等学校総合文化祭 演劇部門」しかなく、高校演劇のため観客は学校関係者や保護者が多く一般の人にはあまり認知されていない。また両イベントは、高知県にも存在する。

3.2 演劇を観る人の割合

文化に関する世論調査より、文化芸術を直接鑑賞する人の割合は半分を超えているが、そのほとんどが映画館による映画鑑賞(アニメ映画を除く)であった。映画は映画館に行けばいつでも観る事ができ、気軽に楽しめる芸術である。次に多いのは音楽会等による音楽、美術作品の直接鑑賞で、演劇は 8.5%と低くなっており、社会基本調査からも各芸術鑑賞より演劇鑑賞を趣味・娯楽とする人は少ない事がわかる。また、文化芸術を直接鑑賞していない人は 40%を超え、時間が取れないために直接鑑賞しないという事が分かる。他にはテレビ等で鑑賞できるという理由が挙げられているが、社会基本調査の趣味・娯楽より、各芸術を直接鑑賞するよりテレビや CD などによる音楽・映画鑑賞を趣味・娯楽とする人の割合が多い。現在ではテレビでプロによる演劇が放送されていたり、音楽についてもアーティストのコンサートもテレビを通して見る事が可能である。そのため、直接会場に行かなくても芸術を楽しめてしまう。

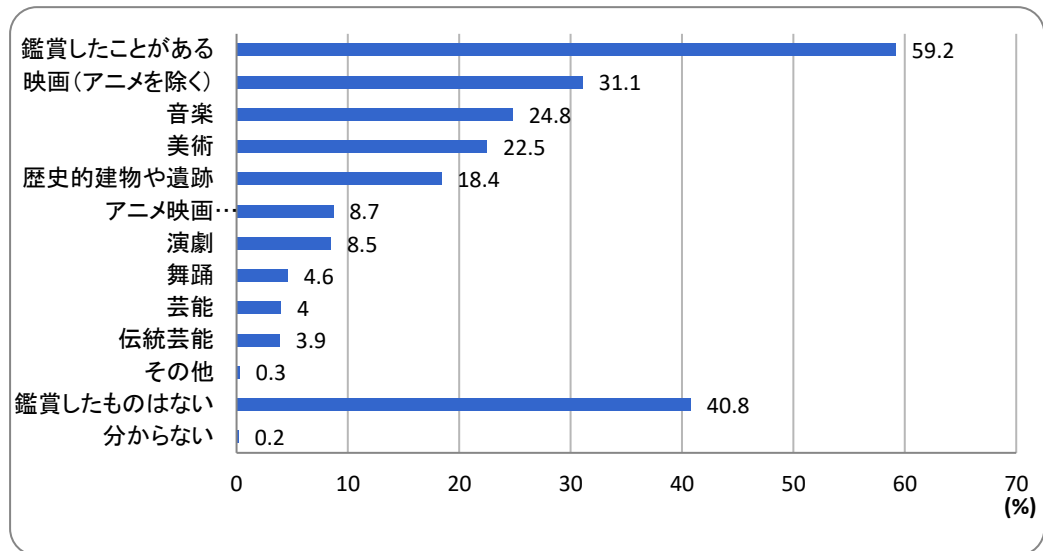


図 1. 文化芸術の直接的鑑賞の有無

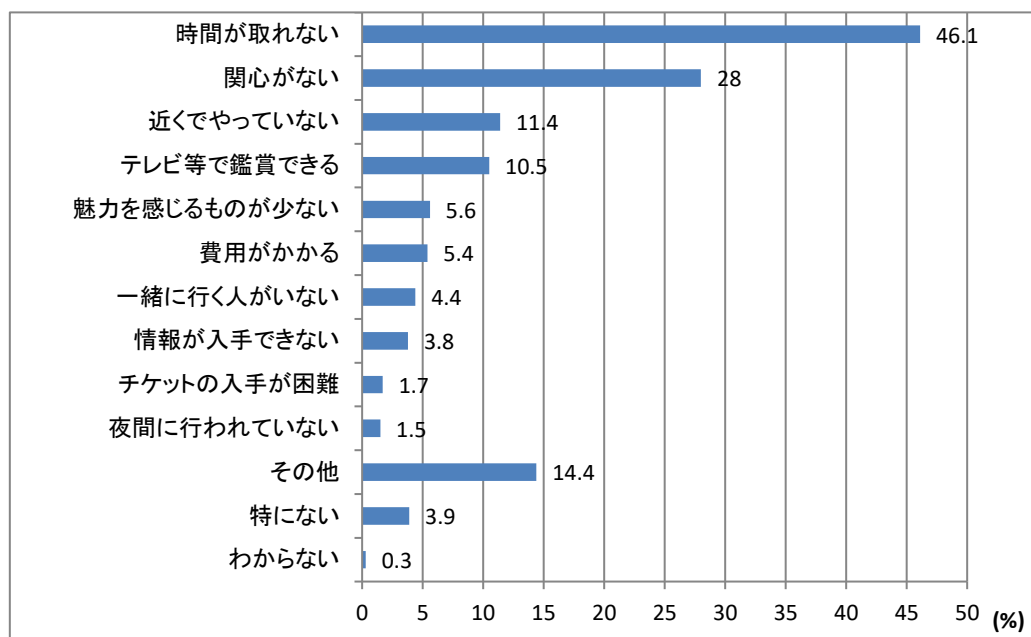


図 2. 文化芸術を直接鑑賞しない理由

	美術 鑑賞	演劇 鑑賞	映画館 での 映画鑑賞	音楽会での クラシック 音楽	音楽会での ポピュラー 音楽	CD等によ る 音楽鑑賞	テレビ等によ る 映画鑑賞
全国	18,863	13,362	39,990	9,782	14,151	54,167	46,153
比率	10%	7%	20%	5%	7%	28%	24%
徳島県	81	65	187	40	62	257	227
比率	9%	7%	20%	4%	7%	28%	25%
高知県	93	48	164	39	62	235	233
比率	11%	6%	19%	5%	7%	27%	27%

表 1. 社会基本調査 趣味・娯楽についての調査

3.3 徳島県でアマチュア劇団が活動出来ない理由

以上の調査から徳島県でアマチュア劇団が活動出来ない理由が2つ考えられる。1つ目は演劇を趣味・娯楽すると人の割合が少ないため、公演をしても観る人がいない。2つ目は手ごろなサイズと利用料金の場所がないという事である。

ここからは、まずどのような演劇イベントであれば演劇に興味を持ってもらえるのかを高知県で実際に行われているイベントを参考とし考えていく。2つめの理由に関してはアマチュア劇団が活動をする上でどれくらいの費用がかかるのかを調べアマチュア劇団の活動をサポートする制度等の見直しについて検討する。

3.4.0 歳児からの音楽コンサート(音楽劇)

演劇は大人が楽しむだけの芸術ではなく、小さい子供にも楽しんでもらう事が出来るのだが、演劇では未就学児の入場を制限するイベントが多い。子供が泣くことで親もゆっくりと演劇を楽しむことが出来ず、また周囲の人にも迷惑となるためである。しかし、このイベントでは対象を子供としており泣いても騒いでもOKの生演奏のコンサート(音楽劇)で、子供が元気に走り回り舞台上にあがってくることもしばしばある。1回1時間程度のイベントでは歌のお姉さんや着ぐるみたちと一緒に進んだり、手遊び、絵本の読み聞かせ等子どもと親と一緒に楽しめるイベントとなっている。また、ZERO☆スター(3歳～小学3年生までの歌と表現を中心とした団体)の発表の場としても利用されている。

3.5 演劇実験空間 蛸蔵ラボ

1回の公演(チケット1,500円～2,000円)で20分～30分程度の芝居を5つ程観る事ができ、演目の種類は参加団体によって異なるため、さまざまな芝居を観る事が出来る。照明、音響装置、舞台装置は運営が用意するため、参加者は自分の演目に必要な衣装等のみの持ち込みだけでよい。また参加費はチケット販売数の半額となり、もう半額は出演料となるのでこのイベントにおいて極端に赤字になるという事はない。このイベントは劇団での参加だけでなく個人での参加やユニットでの参加も可能なため、個別に公演する事が難しい団体にとっては条件の良い機会である。また他団体との交流の場

としての役割もあり、他団体の練習の参加や客演依頼などの話があったりもする。

3.6 芸術文化に関する助成・支援制度

徳島県には小規模で利用料の安い場所がないため大規模で利用料の高い場所で公演を行うことにより劇団の自己負担金が増え赤字となってしまう劇団として活動を続ける事が難しい。

例えば、ある金曜日の午後から準備をし、土曜日・日曜日にチケット1500円の公演(集客60人)を各1回ずつ行い日曜日の夕方から夜にかけて撤去作業を行うイベントを徳島県の徳島シビックセンターと高知県の蛸蔵で公演を行う際にかかる費用を計算する。

	シビックセンター	蛸蔵
ホール	160,740	70,000
楽屋	7,480	
付属設備	61,860	
支出合計	230,080	70,000
チケット収入	180,000	
収入-支出	-50,080	110,000

(単位：円)

シビックセンターでの場合施設利用料の合計だけで23万円を超えチケット収入だけでは賄えなくなってしまっている。上記の計算は施設利用料のみの計算となっているため、チケット・チラシの印刷費、衣装費等を計上すると支出は増え自己負担金が大きくなってしまう。また使用料は前払いの為一時的ではあるが自己負担金が非常に大きくなってしまう。

蛸蔵での場合は最大7日間連続7万円で借りることができ、普通に借りるより安くなる。また最低限の照明、音響設備も含まれている。使用料はイベント終了後になるのでチケット収入で支払う事が出来る。

徳島県で活動する場合、自己負担金が大きくなってしまいますのでこの自己負担金を減らすことが出来ればアマチュア劇団の活動がしやすくなる。自己負担金を減らす方法として芸術文化に関する助成・支援制度がある。徳島県の支援制度のほとんどは音楽に関する支援であり、プロを招いての演奏会や公演が対象となっており、アマチュア団体が活動するための支援する制度は(公財)徳島県文化振興財団文化事業振興補助

金だけである。この補助金は県民等が行う芸術イベント等が対象となっている。申請する際にイベントを企画しそのイベントに対しての自己負担金が対象となる。補助金の上限は100万円、下限は5万円となっている。補助金の金額は、イベントでかかる費用からチケット収入を引いた自己負担金の半額となり、今回のイベントの場合、自己負担金は5万円なので補助金の対象となる額は半額の2万5千円となる。これでは下限に到達していないのだが、その他の経費がかかる事で下限を超える事ができるので申請をする事はできる。助成金の交付はイベント終了後になるため、一時的とはいえ劇団の負担が10万円を超える事になってしまう。イベントを企画するにあたって、ホールの予約は使用したい一年前からの予約が可能であり、ホールの使用状況は毎週末予約が入っている状況なので、一年前に仮予約をしたとしても他団体と被ってしまうと他団体を優先される事もあるため企画したイベントを実行できるか確証がない。

4. 考察

子供向けのイベントは子供だけでなくその家族をも巻き込んだイベントとなるため劇団を幅広い世代に知ってもらう良い機会になる。また小さいうちから芸術に触れる事で子供の可能性を大いに広げる事にも繋がる。複数の劇団とのイベントでは他劇団のファンに知ってもらう事ができる。また各劇団によって得意分野(コント、殺陣、古典作品等)が異なるので観る側も飽きずに見る事ができる。

助成制度を利用する事で劇団の自己負担金は半額になるため活動がしやすくなる。しかし、申請するにあたって1年以上前から企画しなければならないため柔軟性に欠ける。ホールの使用料は前払い、助成金の交付は後払いのため、一時的ではあるが自己負担金が多い。そのためその他の費用を削らなければならないため、芝居の質を下げってしまう事もあり得る。

5. 今後の課題

蛸蔵は戦後まもなく作られた藁倉庫をリノベーションしたミニホールで演劇だけでなく音楽会や披露宴等様々な会場として利用されており、ステージや客席を自由に組むことがで

きるので客席とステージの距離が近い舞台や、部屋を作る事もできるため使い勝手が良い。本番を含む一週間を借りると本番と同じステージで練習する事ができる。また利用状況も1年先までの予定を確認できるため他イベントと被らないように予定を立てる事も出来る。徳島県でもホールとして使用できそうな場所を、蛸蔵のような施設として利用する事が出来れば助成制度がなくても徳島県でも演劇活動がしやすくなるのではないかと。また助成制度に関しても助成金の一部前払い制などアマチュア劇団の経営状況に応じた対応など利用者にとって使いやすい制度に変えていく必要がある。

参考文献

・徳島シビックセンター

<http://www.civic-center.jp/>

・蛸蔵

<http://warakoh.com/theater>

・文化に関する世論調査

<http://survey.gov-online.go.jp/h28/h28-bunka/2-1.html>

・社会基本調査 趣味・娯楽

<http://www.estat.go.jp/SG1/estat/List.do?bid=000001039119&cycode=0>